グリーンリバーホールディングス株式会社

需要獲得 サービス

福岡県福岡市

日本産バジルの流通拡大を推進
独自技術による高付加価値農業を展開

多数のメガソーラー施工実績を持つグリーンリバー(株)、先進農業に取組むグリーンラボ(株)の2社を傘下に、独自開発の「縦型水耕栽培装置」による高効率なバジル生産で事業を拡大する「農業ベンチャー業界大注目の企業」。傘下企業の事業領域と強みを活かし、製造・施工から販売までトータルで手掛け、IoTと再生可能エネルギーを活用した「日本最大級のバジルファーム構築」に併せ、「耕作放棄ビニールハウスの再生」を全国で展開。

●所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前1-4-4 JPR博多8F
●電話/FAX	092-471-7332/092-471-7333
●URL	https://www.greenriver-hd.co.jp/
●代表者	代表取締役　長瀬　勝義

●設立	2014年
●資本金	12,500万円
●従業員数	92人

独自技術で高付加価値の国産バジルの生産と流通拡大を推進

独自の「縦型水耕栽培装置」による3D高密度栽培で1本のタワーあたり約20株のバジルを植栽し、通常の100倍の収穫量を実現。全国の耕作放棄ビニールハウスや廃校、地熱発電所の排熱等の未利用エネルギーの利活用、IoT統合環境制御システムによる徹底管理で、低単価・高品質で輸入品に勝る国産バジルを通年安定供給し、安心安全を求める消費者のニーズに応えている。海外展示会への出展によるPR強化で流通拡大を推進し、中国の上場企業とのアライアンス締結でさらなる事業拡大に向けた取組を推進中。

両面で栽培されたバジル

日本全国へ水平展開できる高収益な次世代農業モデルを確立

高生産性、IoT利活用を軸に、施工・栽培から販路開拓まで取組むことで蓄積した新規参入やビジネス性確保のノウハウを活かし、設備販売・生産指導から全量買取までフルサポートする高収益な次世代農業モデルを全国で推進し、現在6か所でサービスを開始している。自治体連携による耕作放棄地の再生等で地域に根づく新産業で安定生産・流通と雇用を実現し、持続可能な地方創生にも貢献。次世代農業と地域資源の有機結合の取組は福岡県ベンチャービジネス支援協議会の「FVM大賞2020」にて大賞を受賞。積極的な投資により縦型水耕栽培装置の葉物野菜全般への展開も着手中。

IoTを使いファクトリーを操作する様子

多様な人材の活用、次代を担う人材の育成を全社一丸で推進

独自技術とIoT活用で高い生産性、効率化を実現し、ファーム作業は立った状態で行うことが可能になっている。農業でありながら1日8時間勤務・週休2日制を確立し、多様な働き方を推進。女性のセカンドキャリアや障がい者の活躍の場創出、所得向上にも着実に取組みながら農業のダイバーシティの実現に貢献。組織的な経営と成長を目指し、組織再編や役員全員での議論プロセスの導入、次代を担う社員の積極登用等を全社一丸で推進中。

地域の人々を雇用し、産業基盤を作っている